

別表第1 補強コンクリートブロック造の塀又は門柱の判断基準（第2条関係）

| 判定区分 | 判断基準 |
|------------|---|
| 1 高さ | 2.2m以下 |
| 2 厚さ | (高さ2m以下の場合) 10cm以上 (高さ2m超2.2m以下の場合) 15cm以上 |
| 3 控え壁 | 高さ1.2m超の場合、長さ3.4m以下ごとに、高さの5分の1以上突出した控え壁あり |
| 4 基礎の有無 | コンクリート造の基礎あり |
| 5 基礎の根入れ深さ | 高さ1.2m超の場合、30cm以上 |
| 6 劣化状況 | 著しい傾き又はひび割れがない。 |
| 7 鉄筋の有無 | 内部に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm以下の間隔で配筋されている。 |
| 8 鉄筋の定着 | 縦筋は壁頂部及び基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている。 |

別表第2 組積造の塀又は門柱の判断基準（第2条関係）

| 判定区分 | 判断基準 |
|------------|--------------------------------|
| 1 高さ | 1.2m以下 |
| 2 厚さ | その部分から壁頂までの垂直距離の10分の1以上 |
| 3 控え壁 | 塀の長さ4m以下ごとに、厚さの1.5倍以上突出した控え壁あり |
| 4 基礎の有無 | コンクリート造の基礎あり |
| 5 基礎の根入れ深さ | 20cm以上 |
| 6 劣化状況 | 著しい傾き又はひび割れがない。 |